



第24回

日本看護診断学会学術大会



看護診断の原点にかえろう

—クライアントの健康な生活に有益な看護介入に向けて—

会期：2018年7月28日(土)～29日(日)

会場：TFTビル (東京都江東区有明)

大会長：佐藤 正美

(東京慈恵会医科大学 医学部看護学科)

- | | |
|-----------------|---|
| 会長講演 | 「看護診断の原点にかえろう」
佐藤 正美 (東京慈恵会医科大学) |
| 特別講演 1 | 「診断プロセスは治療の営みである—精神科医の立場から」
中村 敬 (東京慈恵会医科大学附属第三病院) |
| 特別講演 2 | 「NANDA-I看護診断分類：誕生と発展」
上鶴 重美 (NANDAインターナショナル理事長) |
| 教育講演 1 | 「臨床仏教師による傾聴とアセスメント」
神 仁 (臨床仏教研究所・東京慈恵会医科大学) |
| 教育講演 2 | 「看護に必要な概念との向き合い方
つくる・かりる・みなおす」
永田 明 (長崎大学) |
| シンポジウム 1 | 「看護介入の有益性とは何か」
田中マキ子 (山口県立大学)
梅田 恵 (昭和大学/昭和大学病院)
任 和子 (京都大学) |
| シンポジウム 2 | 「有益な看護介入の実践へ向けた看護診断の取り組み」
杉浦なおみ (慶應義塾大学病院)
宮地実穂子 (旭川医科大学病院)
中野由美子 (聖隷浜松病院) |
| 事例セッション 1 | 「心理社会的な看護診断の正確度を高めるために
—鑑別診断のプロセスを体験しよう」
佐々木真紀子 (秋田大学) |
| 事例セッション 2 | 「アセスメントから診断までの実際の
プロセスを体験しよう」
本郷久美子 (三育学院大学) |
| ランチョン
セミナー 1 | 「いかに聴き、いかに支えるか
～アルツハイマー病の人との臨床における対話～」
繁田 雅弘 (東京慈恵会医科大学) |
| ランチョン
セミナー 2 | 「患者関連図をツールに思考力アップ！
臨床ナースとともに看護診断と看護計画を考える」
阿部 幸恵 (東京医科大学) |
| 市民公開講座 | 「つなぐ・つなげる闘病記
—患者が主体的に生きるためのケア」
門林 道子 (日本女子大学 研究員) |

演題募集期間

2017年12月1日(金)～
2018年2月15日(木)

事前参加登録募集期間

2018年2月1日(木)～
2018年5月24日(木)

●●● <http://www.procomu.jp/jsnd2018/> ●●●

大会事務局 東京慈恵会医科大学医学部看護学科 成人看護学
〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1
TEL : 03-3480-1151 FAX : 03-3488-7452

運営担当 株式会社プロコムインターナショナル
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階
TEL : 03-5520-8821 FAX : 03-5520-8820 Mail : jsnd24@procomu.jp

